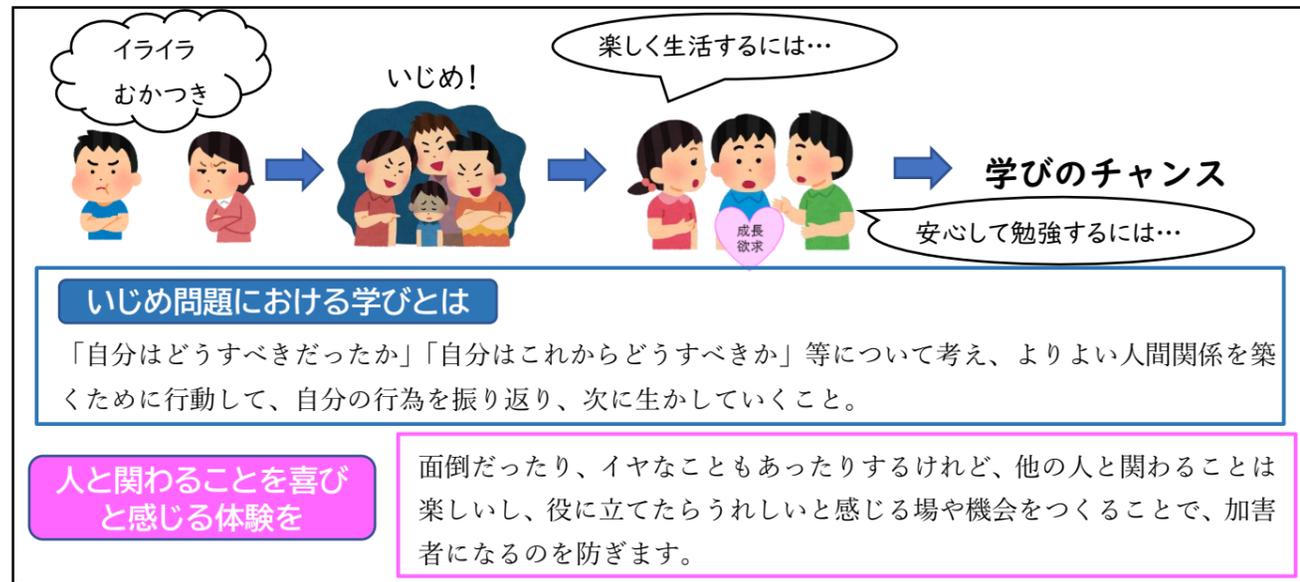
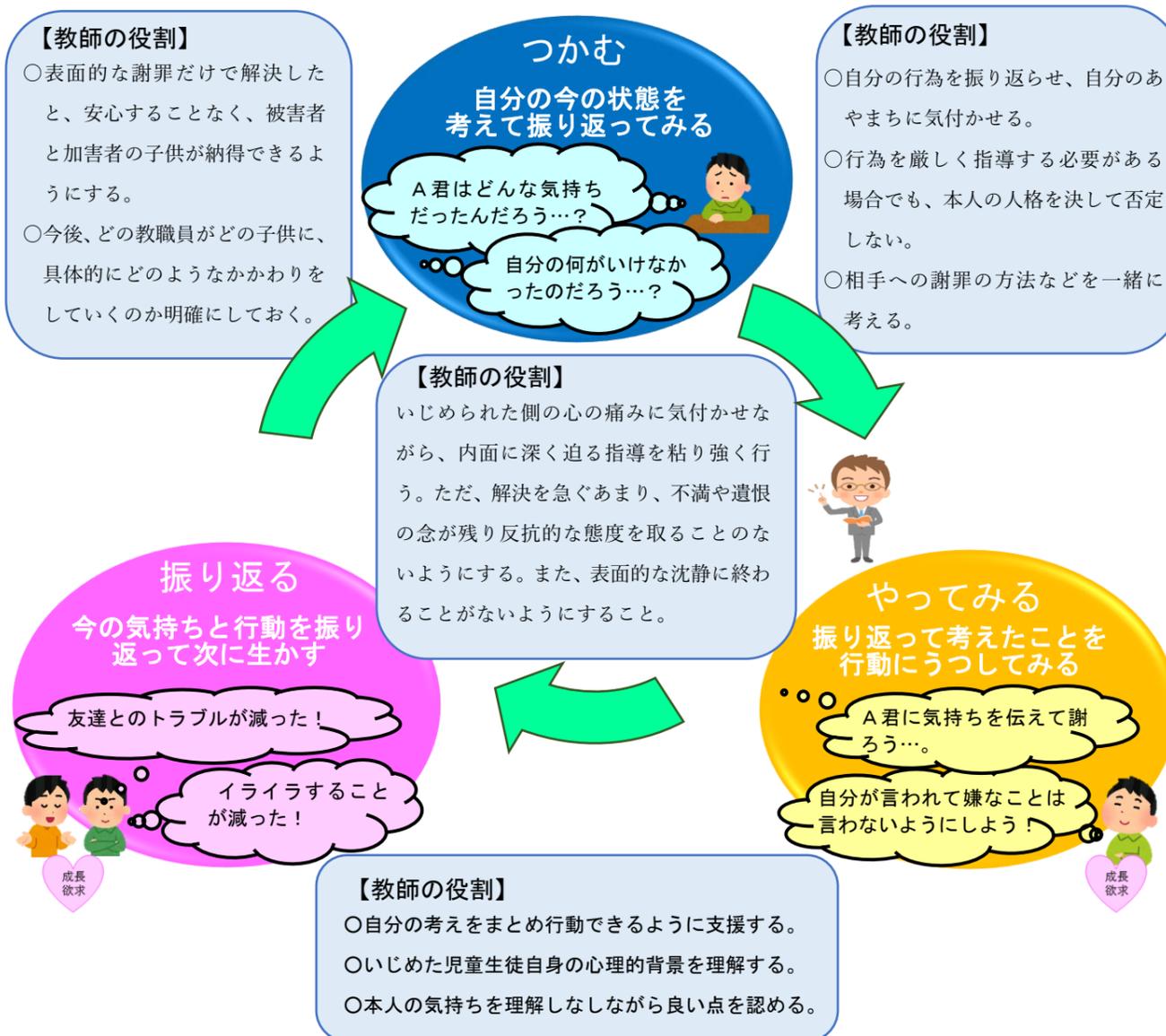


(3) いじめ

ア いじめ問題を学びへ



イ いじめ問題を学びにするための教師の役割と「自ら学び続け学び合う子供」の姿



ウ いじめ問題に取り組む際の3つの視点とその流れ

いじめ問題の防止と解決に向けて～『いじめを見逃さない体制づくり』

- ① 教職員の指導力向上
～教職員の指導力向上のための研修の充実～
- ② 校内体制の強化と教育相談の充実
～学校いじめ対策委員会等を中心とした校内体制と教育相談主任を中心とした相談体制の強化～
- ③ 学校外のいじめの対応
～関係機関や相談機関との連携～

エ 関連資料

～いじめ問題の防止と解決、学校外のいじめ対応については～

子どもたちのSOSが聞こえますか? 『いじめ問題の防止と解決に向けて』 佐賀県教育委員会

https://www.pref.saga.lg.jp/kyouiku/ki_ji00333808

～組織的対応については～

生徒指導リーフ 学校の「組織」で行ういじめ「認知」の手順 国立教育政策研究所

<https://www.nier.go.jp/shido/leaf/leaf19.pdf>

～「サイクル」進めた実践については～

生徒指導リーフ増刊号 いじめのない学校づくり2 国立教育政策研究所

[leaves2b.pdf \(nier.go.jp\)](https://www.nier.go.jp/leaves2b.pdf)

【コラム】いじめ対策は「サイクル」で!

いじめ対策のために何か特別なことをするのではなく、日々の授業や行事を改善する中でいじめが生まれにくい風土を作りだす、そうした地道な未然防止の取組を着実に実行する際に役立つのが、サイクルで進める考え方です。たとえば、次の①～⑥のような一連の手順が必要なのです。

- | | |
|--|-------|
| ①「課題（実態を踏まえた、児童生徒の問題点）」の設定 | } P計画 |
| ②「目標（課題から導かれる、年度内に達成したい児童生徒の好ましい姿）」の設定 | |
| ③「取組（内容と実施日程）」の設定 | } D実行 |
| ④「実行（上記の取組の実施）」 | |
| ⑤「チェック（児童生徒対象のアンケート調査による）」 | } C点検 |
| ⑥「（[課題][目標][取組]の）修正 *①にもどる | |
- A修正=計画**

未然防止の取組を積極的に進めるには、まだ表面に現れていない児童生徒の課題を発見する試みと、そこで明らかになった課題を解決していくための計画的な取組が重要になってきます。

参考資料 生徒指導リーフ いじめの未然防止 I